

東京ジョブコーチ

公益財団法人東京しごと財団委託訓練事業 東京都補助事業



CONTENTS

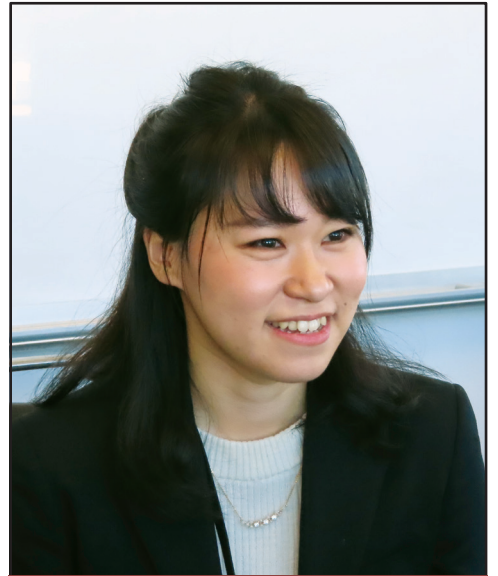
Customers Voice 株式会社 LAVA international
東京都立志村学園

～お知らせ～

2020.春
第16号

東京ジョブコーチ職場定着支援事業広報紙（年2回発行）

人事総務部 オフィスサポートグループ 芝 香織 様



人事総務部 オフィスサポートグループ
新規業務開発チーム 芝 香織 様
2016（平成28）年入社。2019（平成31）年よりユニットリーダーとして障害者雇用を担当。

株式会社 ラバ インターナショナル

【事業】

- ・ヨガスタジオ等の運営（ホットヨガスタジオ LAVA 等）
- ・ヨガインストラクター養成スクールの運営（FIRSTSHIP）
- ・ヨガウェアブランドの展開（SUKALA）
- ・ヨガイベントの運営

【創業】1990（平成2）年12月

【所在地】本社：東京都港区

【URL】<https://lava-intl.co.jp/>

当社では「感謝・素直な心・長所伸展」の

三つの考えを大切にしています

御社の事業内容をお聞かせください。

芝様（以下S）.. LAVA（以下当社）は、一五の企業から成る株式会社ベンチャーバンクのグループ企業の一つです。

主な事業内容は、全国四三〇店舗以上のホットヨガスタジオの運営です。他にも、エステやリゾート施設の運営、ヨガイベントの運営、ヨガウェアなどヨガに関する自社製品や健康食品の開発・販売等も行っています。

御社が大切にしている理念を教えてください。

S..グループ全体の理念として「好きを仕事に」を掲げております。自分の強みを活かせる「好き」になれる仕事を見つけていく、好きだからこそ積極的にチャレンジしようという思いが湧く、自分の可能性が広がっていく、という思いが込められています。

当社では、「ヨガを通して一人でも多くの人を幸せにします」という理念のもと、まずは働

いている社員自身が輝くことで、関わる人すべてに幸せの輪を広げていきます。

また、当社では「感謝・素直な心・長所伸展」の三つの考えを大切にしています。

特に「感謝」については、ささやかなことでもお互いに「ありがとう」を言い合える社内風土があります。毎年行っている「感謝カード」の取り組みでは、カードにメッセージを書いて渡すことで、お互いに感謝の気持ちを伝え合っています。入社した障がいのあるスタッフは、口を揃えて「周りの人からこんなに感謝されたことがない」と言っています。障がいのある方と接したことのないスタッフもいますが、何かしてもらった時には自然と「ありがとう」と感謝の気持ちを伝え合う風土がお互いの理解促進、働きやすさにつながっていると感じています。

障がいのある方の所属するオフィスサポートグループ（以下OSG）について教えてください。

S..OSGの障がいのある社員の方には、私たちの職務であるユニットリーダー（以下UL）というサポート社員のいる環境下で仕事をさせていただいています。OSGには大きく分けて二つのチームがあります。一つ目のメンバーユニットチームは、三五名ほどのスタッフが本社内での事務業務を行っています。ULが窓口となり、社内の各部署から依頼を受け書類の封入等の軽作業やデータ入力等のPC入力を行っています。二つ目は、今年度から始まった店舗清掃チームです。現在、店舗清掃チームには八名のスタッフが在籍し、各店舗のフロアやシャワールームの清掃、タオルたたみ等の補助業務を行っています。

以前は人事部付の数名のチームでしたが、現在は六〇名規模のグループとして独立している点からも、当社としての障害者雇用への期待の大きさが感じられます。

障がいのある社員の方は、他にどのような働き方をされていますか。

S..本社内の部署に直接雇用されている三名の社員は、それぞれの活躍の場で経験を活かしながら働いていただいています。

また、当社には、七名のパラアスリートが所属しており、東京パラリンピック出場を目指しています。基本的には競技の活動が中心ですが、当社で開発した、障がいのある方にも実践しやすいヨガを広める活動も行っています。

障害者雇用で大切にしている考えはありますか。

S・・・当社の障害者雇用では、「長所伸展」を大切にし、障がい種別に関係なく、出来ることや得意なことに目を向けるようにしています。例えば、メンバークンニットチームでは、手先が器用な方は軽作業、PCが得意な方はデータ入力等を行ってもらっています。

店舗清掃チームでは、臨機応変な対応が得意な方には、お客様の出入りが多い店舗で働いてもらい、ゆつくり丁寧な掃除するのが得意な方には、規模が小さな店舗で働いてもらっています。また、当社として必要としている業務において、強みを活かしながら働くことができるという点も大切にしています。企業貢献の自覚をもちながら働けることが、やりがいの創出にもつながっていると 생각합니다。**働き続けるための環境づくりについて教えてください。**

S・・・職場定着のために、ULが重要な役割を果たしています。障がいのある社員一人ひとりの個性に合わせて伝え方を工夫しながら業務をレクチャーしたり、月に一回面談をして困り事の解決や自己実現のための手助けをしたりしています。店舗清掃チームにおいては、店舗スタッフとも密に連絡を取り合い、定期的に訪問しています。職場となる店舗の受け入れ体制を整えるため、関わり方の工夫を伝える研修等も行っています。

また、月に一回「OS Channel（オフィスサポートチャンネル）」という情報誌を全社員に向けて配信しています。この誌面には、障害者雇用で多種多様な業務に就いているスタッフの活躍や会社への貢献度合いなどを掲載し紹介することで、社内理解の促進にも力を入れています。

東京ジヨブコーチの方から、仕事の技術や接し方だけでなく

人としての考え方や生き方も学ばせていただきました

先述しましたが、「感謝」を大事にする風土があることも、障がいのある方にとって働き続けたいと思える環境づくりにつながっていると思います。

今年度、店舗清掃チームでの雇用の際、東京ジヨブコーチ（以下TJC）をご利用いただきましたが、いかがでしたでしょうか。

S・・・K店の清掃職として精神障がいのあるAさんを雇用する際、TJCの方に支援していただきました。私も社員として、Aさんのできたことに対してほめたり評価を伝えたりしましたが、TJCの方からも、また違った立場から良い点を丁寧にフィードバックしてくださいました。当初不安の強いAさんでしたが、複数の人から称賛の言葉をいただくことで、早期の不安払拭と自信獲得につながっていると感じました。

廣野様（以下H）・・・他にもH店で働くBさんのように精神障がいのある方にとっては、入社初期の特に不安な時期にTJCの方のサポートが励みになっています。少し不調に陥った時も、TJCの方の存在が心の支えになっているようです。もちろん清掃技術に関してもTJCの方がプロフェッショナルに教えてくださるので助かります。私たち社員のみ視点ですと、確認する箇所等がどうしても決まってきたりしますが、TJCの方に客観的な視点で助言していただけると、清掃の質が高まっていくように感じています。

S・・・私は大学で福祉を学んでこの会社に入社しました。現場では知識だけでは追い付か

いことも多い中、TJCの方が豊富な経験を活かしてアドバイスしてくださり本当に助かりました。K店では、話しかけやすい優しい雰囲気、TJCの方が、Aさんと店舗スタッフとの橋渡しをしながら、コミュニケーションの輪を広げてくださったことで、Aさんが安心して働くことができています。

H・・・H店訪問の際、TJCの方にBさんの面談に同席していただく場面がありました。不安を感じるBさんの想いを受け止め、真剣に向き合うTJCの方から、私は、仕事の技術や接し方だけでなく、人としての考え方や生き方も学ばせていただきました。

今後の展望をお聞かせください。

H・・・当社の理念「ヨガを通して一人でも多くの人を幸せにします」の「一人でも多くの人」の中には、もちろん障がいのある人も含まれています。この理念に基づき、障がいのある方の活躍の場を拓ける、ということを経営の目標としています。



芝さん（左）と廣野さん（右）

ワシのポーズで♪



高等部就業技術科 進路指導部
担当主任教諭 久田 美由紀 先生

外資系 IT 企業勤務等を経て 2010
(平成 22) 年教員の道へ。本校では
開校以来、進路指導を担当。

「働くために必要な力」を身につけることが本校の目標です

志村学園高等部就業技術科の特色をお聞かせ下さい。

本校では、職業に関する教科として四コース（別枠①参照）に分かれて専門的に学んでいきます。どのコースに所属していても、事務的な仕事に必要な PC 技能や職場におけるコミュニケーション力を身につける内容も併せて学んでいきます。

また、学校で学んだ力を発揮する機会として、様々な事業所に実習受け入れのご協力をいただき、チャレンジしていきます。実際に働く場に出て、自分の力を試すことで「興味はあったけど、実際にやってみたら難しかった」「思っていたよりも力を発揮できた」等、生徒自身が自分の課題や強みを見つけてくる経験を経ることで、さらに力を磨き、就職を目指していきます。

を身に付けていくこと、そして素敵な社会人になることが本校の目標です。

最近の就職状況を教えてください。

事務的な仕事の割合が多くなっています。PC 入力を中心に行う仕事もあれば、オフィス清掃や封入・封緘のような軽作業の場合もあり、事務的な仕事といっても多岐に渡っています。

また、清掃のコースに所属していたから清掃の仕事につく、食品加工コースだから飲食業に就職するということでは必ずしもなく、就職は会社が必要とする求人と本人が発揮できる力や希望とのマッチングで決まっています。

卒業生の例を挙げると、ホテルに就職し、初めはバックヤードでの軽作業や清掃を行っていた人が、徐々に力をつけていくことで仕事の幅が広がり、職場からの提案でフロント業務についたケースがありました。このように、

① 東京都立 志村学園

軽度の知的障がいがある生徒が企業就労をめざす高等部就業技術科（下枠参照）と、肢体不自由教育部門小学部・中学部・高等部が併設されている。

【職業に関する教科（4 コース）】

- ・流通・サービス系列・・・ビルメンテナンスコース／流通・都市農園芸サービスコース
- ・家政・福祉系列・・・食品加工コース／介護・コミュニケーションコース

【開校】 2013（平成 25）年 4 月

【所在地】 東京都板橋区

② 東京都の知的障害特別支援学校高等部

【就業技術科（職業学科）】・都内 5 校（志村学園含む）／入学者選考あり、通学区域なし／全員就労を目指す

【職能開発科】・都内 3 校（普通科に併設）／今後 5 校設置予定／就業技術科と同様に入学者選考あり、通学区域なし／全員就労を目指す

【普通科】・都内 23 校／希望者入学可／通学区域あり

入社してから可能性が広がるケースもあります。生徒には「この仕事でなければやりたくない。」と範囲を限定してしまうのではなく、自分のできることを広げ、チャンスを増やさない、と伝えていきます。

実習時期や期間はどうのように決めていますか。

二・三年次の生徒は、基本的に一週間以内の実習を複数社経験します。三年間の中で複数社の実習を経験することで比較・選択をし、公正採用選考の流れの中で、生徒自身が自分の目標とする就職先を見つけて「この会社に入りたい！」の一事を決めていくことが大事だと考えるからです。また、時期や期間は事業所のご都合やお考えをお聞きし、無理のない設定を相談していくと共に、生徒には学校生活も大事にしてほしいので、授業や部活動、学校行事など、生徒それぞれの予定も考慮しつつ調整していきます。

就職後の自立に向けた学習はどのように行っていますか。

就職することだけを目標とするのではなくて卒業後の生活を考えるということも大切にし

在校生だけではなく、卒業生に対しても

必要なタイミングで支援していただけますし、

費用が無料であることを含め、とても心強い事業です

ています。三年次の中頃からは、働くことを含めたそれぞれの人生の夢や希望を描き、それらを実現するためにはどのような支援が必要かといった内容を学習していきます。生徒それぞれの生活設計をまとめたものを「マイ・ライフ・プラン（私の移行計画）」と呼んでおり、自己決定、自己選択の考えに基づき、生徒自身がプランニングし自分自身の情報として、必要な時に活用できるように準備していきます。

東京ジョブコーチ（以下TJC）をご利用いただき、いかがでしたか。

飲食業の厨房業務に就職後しばらく順調だった卒業生Cさんは、在職三年目を迎えた頃に不調に転じました。というのは、もう三年目ということでも期待値が上がってきたこともあったかもしれません。最初の頃は大目に見られていたことも、許されなくなってきたいました。現場スタッフの方々からの指導が徐々に厳しくなっていく、Cさん自身も自分のキャリアに少し迷いが出てきていた、そんな大変な状況の時にTJCに入っていたいただきました。

ご担当のTJCは、長く職場経験のあるパースタッフの方々にも気持ち寄せ、Cさんとの間に入っていただくことで少しずつ彼の障がい特性への理解を得て、溝を埋めてくださいました。仕事中の動線を分析し、Cさんが仕事をしやすい流れなどの環境調整も進めてくださいました。周りの理解が進むと共に、

Cさんも安心して力を発揮できるようになりました。今は「自立した生活を送れるように仕事を頑張りたい」と話しており、生活面の自立も、目指すようになりました。私たちだけではなく、Cさん自身もTJCに入っていたいただいたことを転機として感謝している事例です。

特に職場に障がいのある人を初めて受け入れるケース、勤務シフトや異動が多く働いている人が流動的で変わりやすい職場などは、早めに職場の方々に理解を得ると、その後の定着につながると思います。

他にも事例があれば教えていただけますか。

Cさんと同じく飲食業に入社した卒業生Dさんのケースは、卒業前からTJCと情報共有させていただき、卒業後、就労スタートとほぼ同時期に支援に入っていました。

Dさんは一見どこに障がいがあるのか、わかりにくいところがありました。また、作業ができる時とできない時の波がある点や、指示に対して肯定的な返事はするものの理解の程度の確認が難しい点などの特性が見られ、周囲の理解を得るまでに時間がかかりそうでしたので、卒業後の定着に向けて早めの対処をさせていただきます。TJCとは在学中にDさんに会っていただき、特性を把握した上で支援に入っていました。結果として

とても良かったと思います。今後は職場の事情で店舗異動となる予定ですが、最初の職場でのTJCの支援内容を異動先にお伝えする

ことで、よりスムーズに移行できると思います。このように在校生だけではなく、卒業生に対しても、必要なタイミングで支援していただけますし、費用が無料であることも含め、とても心強い事業だと思います。

当事業へのご要望はありますか。

先の二ケースでは、飲食業種の支援経験のある方ということでマッチングしていただきました。TJCの専門性や得意分野、例えば飲食だったらこの人が適任、事務系だったら、清掃だったらといった得意分野の人材がより充実されるとありがたいですね。依頼する側としても、TJCにお任せするだけでなく、TJCにお願いする趣旨、何のために入れるのかといった目標や目的を共有することは大切なことだと考えています。

企業や関係支援機関との連携について教えてください。

この春、五回目の卒業生を送り出す予定です。卒業後も母校としては引き続き応援していきます。就職先となる企業、地域の支援センター、TJC、といった様々な立場の方々のお力添えをいただき、昨年の流行語大賞ではないですが「ONE TEAM」としてチームワークを意識して一緒に卒業生を支えていきたいと思えます。



久田先生、
ありがとうございました！

～お知らせ～

①「個別相談会」のご案内について

東京ジョブコーチ支援センターでは、障害者、ご家族、企業、支援機関、デイケア、学校に向けて、障害者の職場定着のための「個別相談会」を毎月1回程度開催しています。

詳しくは、当支援センターホームページをご参照ください。日時についてはご相談に応じます。ぜひご利用ください。

②国や東京都、区市町村の職場にお勤めの方へのご支援について

今年度お問い合わせをいただいた方にはご説明してまいりましたが、令和2（2020）年4月1日より、国や区市町村でお勤めする障害者の方への東京ジョブコーチ支援は行えなくなりました（令和2年3月31日以前より継続中のご支援は除きます）。

③ホームページリニューアルのご案内について

この度ホームページをリニューアルいたしました。これまで同様、ご支援の手続きに必要な支援依頼書など、また、東京ジョブコーチリーフレット及び広報紙のダウンロードが可能となっています。

表紙の絵：「今の自分を作っているもの」

作者：伊藤 脩貴（いとう はるき）

ニックネーム：ハチ

言葉がなかなか育たず、思いを発散するために、言葉の代わりに絵を描き始めたハチ。

お題はいつも決まっておらず、彼の中にあるものが絵に表されています。

日常での言葉が使えるようになった今も、心や思いを伝えるのは苦手なハチにとって、絵の色はその時のハチの心の状態を表してくれます。

ハチの夢は沢山の人が絵を見てもらうこと。

今回は、このような機会を頂きとても感謝しています。
これからも多くの方々にハチの絵を見てもらえるように、
そして ハチの絵が色鮮やかな明るい絵で彩られることを願っています。

現在は、神奈川県にある保育園で用務担当として、園内外の清掃や軽作業の仕事をしています。特別支援学校を卒業して、2年目の社会人です。

特性の関係上、園児に関わる仕事は難しいですが、園児から話し掛けられたときには、笑顔で対応しています。
これからも沢山経験を積んで、頑張っていきたいと思っています。



Contact us

▶ 事業のご利用（支援依頼等）に関すること

東京ジョブコーチ支援センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-11-2 代々木コミュニティビル3階
TEL(03)3378-7057 FAX(03)3378-7058

Eメール tokyo-jc@ikuseikai-tyky.or.jp

ホームページ <http://www.ikuseikai-tyky.or.jp/~iku-tokyo-jc/>

▶ 事業全般、東京ジョブコーチに関すること

公益財団法人 東京しごと財団

障害者就業支援課 コーディネート事業係

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター8階

TEL(03)5211-2682 FAX(03)5211-5463

ホームページ <https://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>